



栃木県総合教育センター

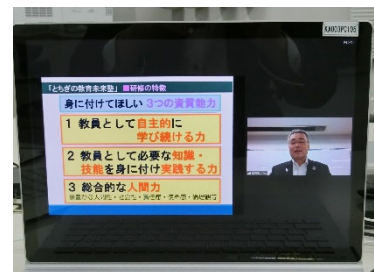
令和5（2023）年度 第14期 とちぎの教育未来塾 第14期生 106名

第1日〔令和5(2023)年10月28日（土）〕

開講式 開講あいさつ
総合教育センター所長 大高 栄男



第14期「とちぎの教育未来塾」がスタートしました。今年度の「とちぎの教育未来塾」は、全4日間の日程で開催されます。第1日はオンライン同時双方向型で実施し、開講あいさつでは、未来塾の目的・特徴や研修に臨む心構えについて話がありました。



講話・演習 「教師を語ろう①」
栃木県総合教育センター研修部副主幹 高橋 徹

それぞれの「こんな教師でありたい！」姿を受講者同士で共有しながら、教師として「とちぎの求める教師像」について考え、そして、それぞれの考えを現職・学生混合のブレイクアウトルームで「熱く」語り合いました。



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆改めて教師の良さに気づくことができました。自分は「子どもたちの心に火をつけられる教師」になれるよう、さらに子どもたちのことを理解し、自分自身が成長できるよう、今から頑張ります。
- ◆自分が求める教師像が、県が示している教師像や他の先生方、学生の方と比較検討できたことが、良い刺激になりました。教師を目指した時を思い出し、もう一度初心に返ることができました。

【学生等】

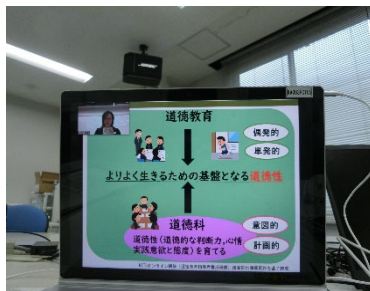
- ◆実際に教員として働いている方と話すことができ、自分にはなかったような考え方や、教員の魅力等を知る

ことができ、本当に良い機会となりました。

- ◆実際に現役で教師をされている方や教師を志望としている方々と教師に求められる資質や能力、またはそれぞれの教師への憧れ等を共有することができて非常に貴重な経験となりました。教師は生徒の伴走者として共に成長する存在であるということが非常に心に残りました。

【選択講座A】道徳教育に関する「よりよく生きるための道徳教育」

栃木県総合教育センター研究調査部副主幹 佐藤裕美子



受講後の振り返りから

【現職】

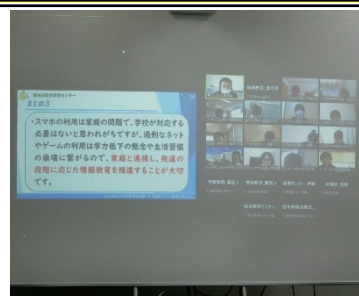
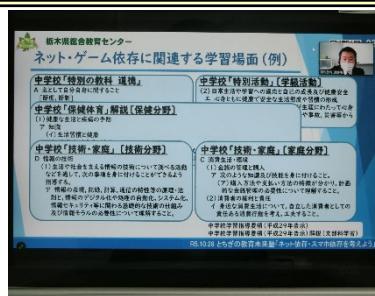
- ◆ミニ授業を通して、多角的多面的に考えさせるための様々な方策を知ることができました。本日実際に体験したことをもとに、今後の道徳の授業では、道徳性を教え、日常生活の中では児童の道徳性を育てられるようにしたいと思います。また、私は初任者であるため、2学期の終わりに初めての道徳の所見を書くこととなります。評価をするときに、学習活動に注目しながら書くことができるようにしたいと思います。
- ◆自分の授業を振り返ると、内容項目の理解が不十分で、実際にその立場になりきるような活動がかけられているなと思いました。これからの授業に生かして発展していきたいと思いました。

【学生等】

- ◆実際に私は先週に教育実習を終えたのですが、道徳の授業をしたときに時間配分や生徒の興味関心を引き寄せる方法が難しいと痛感しました。今日の講義の中で、道徳の授業の進め方や指導する際の注意点など改めて知ることが多くありました。今後の自身の勉強に役立てていきたいです。
- ◆自分が今までに課題としていた、道徳科と国語科、道徳教育と道徳科の違いとそれぞれの重要性について知ることができ、有意義な学びとすることができました。

【選択講座A】情報教育に関する「ネット依存・スマホ依存を考えよう」

栃木県総合教育センター研究調査部指導主事 福田 智貴



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆ネット依存・スマホ依存は表面的にその人を見るのではなく、その背景のなぜ依存してしまうのかを考えると

が大切だと思いました。今の子どもは忍耐力が低いわけではなく、オンラインゲームやスマホなど無限にふれていられるものに囲まれ、自己抑制が困難な環境であることを認識した上で、組織的な指導をしていかなくてはならないと感じました。

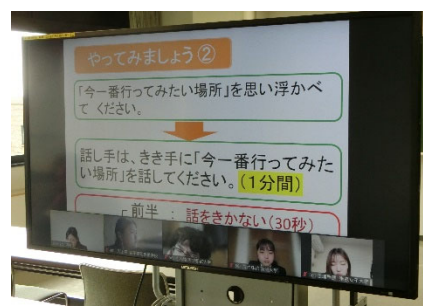
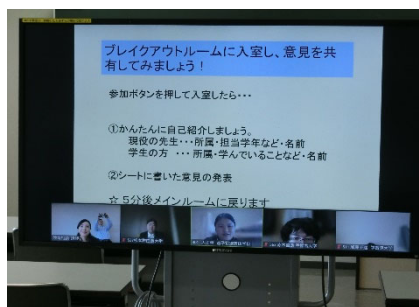
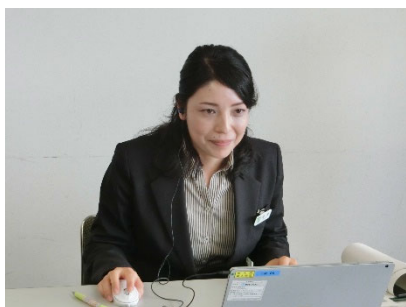
- ◆ネット依存・スマホ依存の根幹にある問題について知ることができ、今後の対応の仕方や、ICTの活用の仕方について考えることができました。今後、子どもたちが更なるICTの活用に向けて安全に活用できるように指導をしていきたいです。

【学生等】

- ◆近年ネットやゲームのトラブルが相次ぐ中、依存について考え直す良い機会となりました。依存になるのは子どもの自制心が足りないからだと思いつけていましたが、それはゲームの特性であり、大人がゲームやネットの依存性をしっかり理解し対応していくことが大切であることに気づきました。今日学んだことを忘れずに心に留めておき、教職に就いた際には保護者と協力しながらゲーム依存の子どもを減らせるよう尽力したいと思います。
- ◆ゲーム依存・ネット依存について、子どもを正すという指導を意識していましたが、今回の講話を聞いてこのような社会が日本では作られてしまっていて、子どもは自己抑制が困難になってしまっているということを理解するべきだと考えることができました。また、対策法として挙げられていたものを実際教員になった際活用したいと思いました。

【選択講座A】教育相談に関すること「子どもとのかかわり」

栃木県総合教育センター教育相談部指導主事 湊谷 景子



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆目の前の子どもは、一人一人違うということは分かってはいるのですが、一緒に日々を過ごしていると忘れてしまう部分があり、自分の思いを子どもたちに押し付けてしまっているということを振り返ることができました。一人一人の個性を大切にしていっていかないといけないと感じました。
- ◆子どもと話すときに、人それぞれ捉え方や見方が違うということに気づき、理解するためには、さまざまな点に視点を向けながら話をよく聞くことが重要であると感じました。普段からそういったことを考えながら子どもと接していきたいと感じました。

【学生等】

- ◆お互いに話したり、イラストを描いたりする中で、いかに子どもの話をしっかりと聞くべきか、具体的に聞く、話すべきかというものを実際に体験することが出来ました。この経験を生かして、教員になった際、子どもたちの意見や悩みを親身になってきちんと理解していきたいと思いました。
- ◆子どもとの関わりの中で、子どもたちの話をしっかりと聞くことの大切さに気づくことができました。子どもたちが安心して相談できる雰囲気や環境作り、教師との信頼関係の構築が重要だと考えました。また、カウンセリングマインドを持って、ひとりひとり違うからこそ違いを踏まえてわかろうとしたいと思います。